

## 看護学科

科目名: 高齢者看護学実習Ⅱ				担当教員 氏名: 今川 孝枝、 荒木晴美 他		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2~3年次	通年	専門科目	実習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師の実務経験を活かして、看護の場や対象の理解と現状について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
対象者及び家族の思いを尊重しながらQOLの向上を目指し、高齢者の特性を踏まえた看護過程を展開する。					高齢者の特性 QOLの向上	
					生活支援 看護過程	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力			現在までに得た知識や技術を実践の場で活用・統合することができる。			
B 専門的技術			高齢者特有の健康問題に対し、具体的援助方法を考え提供することができる。			
C 論理的思考力			看護行為にあたり、その根拠を述べることができる。			
D 問題解決力			高齢者の健康問題を解決するための看護過程を展開することができる。			
G 倫理観			高齢者の尊厳を重んじ、人権に配慮した対応ができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	その他: 実習記録 100 % 態度
特記事項: 実習への積極的取り組みを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション、ディベート) グループワーク プレゼンテーション (実習、フィールドワーク)						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 実習記録は毎日教員が確認、指導する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
実習期間:3週間の実習を行う。				【予習】 予習課題(実習前に提示) 実習中は適宜追加学習	【予習】120分 【事後】120分	
実習施設: 県内の療養型病院				【事後】 まとめのレポート(記録)		
* 詳細については実習要項に記載、オリエンテーションで説明する						
使用テキスト: ①北川公子著者代表:系統別看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学(医学書院)ISBN978-4-260-03186-8 ②鳥羽研二他:系統別看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論(医学書院)ISBN978-4-260-03172-1				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 体調を整え実習に望んでください。						